

万一のとき

6

●発炎筒の使いかた	172
●路上で故障したときは	173
●けん引するときは	174
他車にけん引してもらうとき	174
後ろ側のフックについて	176
●オーバーヒートしたときは	177
●バッテリーがあがったときは	178
●ヒューズを点検・交換するときは	180
●電球（バルブ）を交換するときは	182
●工具・ジャッキ・スペアタイヤについて	189
格納場所	189
スペアタイヤについて（2WD車）	192
ジャッキアップのしかた	193
●パンクしたときは	196
タイヤ交換のしかた（2WD車）	196
タイヤ応急修理のしかた（4WD車）	200
●事故がおきたときは	205

目次

 警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の
使いかた車と
の上手な
あいかた

万一のとき

サービスデータ

さくいん

発炎筒の使いかた

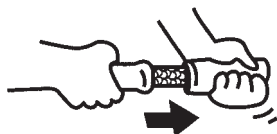
故障や事故などで緊急停車したとき、周囲に危険を知らせるために使います。

- ①助手席足元部のホルダーから発炎筒を外します。



TCA0157Z

- ②本体を回しながらケースから引き抜きます。



TCA0158Z

- ③点火部をケースのすり薬でこすって点火します。



TCA0159Z

警告

- お子さまには触らせないでください。いたずらなどで発火するおそれがあり危険です。
- 可燃物の近くで使わないでください。引火する危険があります。
- 点火は必ず車外で行い、点火後は顔や身体に近づけないでください。やけどをする危険があります。
- トンネル内では使わないでください。煙で視界が悪くなり、他車の走行の妨げとなり事故をまねくおそれがあります。このときは非常点滅表示灯を使ってください。

知識

- 点火後は約5分間燃え続けます。
- 発炎筒に記載してある使用方法、注意をあらかじめ確認しておいてください。
- 発炎筒には有効期限があります。期限が切れる前に日産販売会社でお買い求めください。

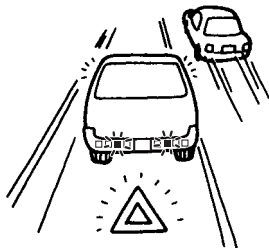
路上で故障したときは

必ず安全な場所に車を退避させ、非常点滅表示灯などで後続車に危険を知らせてください。

安全な場所に退避できないときは、発炎筒（QP.172）で後続車に危険を知らせてください。

■路上で故障したとき

- ①車を路肩などに止め、非常点滅表示灯を点滅させます。
- ②高速道路や自動車専用道路では、車の後方に停止表示板又は停止表示灯を置きます。

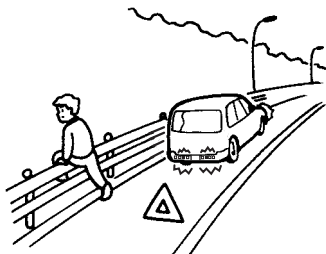


TSC1483Z

知識

- 高速道路や自動車専用道路では、停止表示板（停止表示灯）の表示が法律で義務づけられています。

- ③全員車から降り、ガードレールの外など安全な場所に、すみやかに避難してください。



TSC1484Z

- ④安全を確保後、救援を頼みます。

■エンストしたとき

- ①あわてずエンジンをかけ直してみます。
- ②エンジンがかからないときは、付近の人に救援を求めて、車を押ししてもらい、安全な場所に移動してください。このときセレクトレバーをNにしてください。



TSA2435Z

- ③安全な場所に移動後、救援を頼みます。

注意

- エンジンが止まると、ブレーキやパワーステアリングの倍力装置が動かなくなるため、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作力が重くなりますので注意してください。

■踏み切りで出られないとき

- ①ただちに踏み切りの非常ボタンを押してください。
- ②発炎筒で一刻も早く列車に知らせてください。



TCA0212Z

けん引するときは

車が動かなかったり、異常な音がするときは、けん引せずに日産販売会社へご連絡ください。

けん引が必要なときは、できるだけ日産販売会社、又は専門業者に依頼してください。

🔍JAFの営業所一覧…メンテナンスノート「サービス網について」をお読みください。

他車にけん引してもらうとき



警告

- 電源ポジションがLOCKでバッテリーがあがると、ステアリングロックの解除ができなくなるため、このままの状態でけん引しないでください。けん引するときは救援車のバッテリーとつなぎ、電源ポジションをAcc又はONにしてハンドル操作ができる状態で行ってください。また、けん引中は電源ポジションをLOCKにしないでください。ハンドル操作ができなくなり危険です。



注意

- エンジンが停止していると、ブレーキやパワーステアリングの倍力装置が動かなくなるため、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作力が重くなりますので注意してください。
- 長い下り坂では、ブレーキが過熱して効かなくなり、事故につながるおそれがあります。このような場所でけん引するときは、レッカー車で引いてもらってください。
- 4WD車はトレーラーに車載するか、4輪接地の状態でけん引してもらってください。2輪を上げた状態でけん引すると、上げた車輪が回転して、思わぬ事故や故障につながるおそれがあります。
- VDC付車の前輪を上げてけん引するときは、電源ポジションをONにしないでください。VDCが作動しブレーキがかかることがあります。



アドバイス

- けん引してもらうときは、速度30km/h以下、距離30km以内にしてください。高速走行や長距離走行をすると、トランスアクスルが破損することがあります。できるだけレッカー車、又はトレーラーを依頼してください。
- けん引ロープはできるだけソフトロープを使い、バンパーに傷をつけないように注意してください。

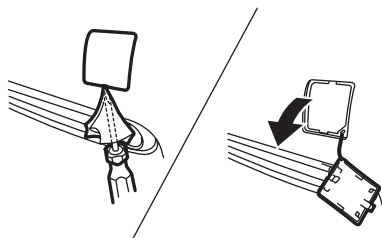
- ①4WD車は2WDに切り替えてください。

●4WD（モーターアシスト方式）…
P.122

注意

- 2WDに切り替わらないときは、4輪を持ち上げてけん引するか4輪車載をしてください。

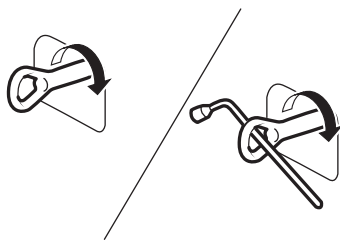
- ②フロントバンパー部のカバーの溝に、マイナスドライバーのような先の細いお手持ちの工具を差し込み、カバーを外します。



ZCE0172

- ③ホイールナットレンチを用いてけん引フックを確実に取り付けます。

●工具…P.189



ZCE0128

- ④自車及び他車のけん引フックにロープを掛けます。

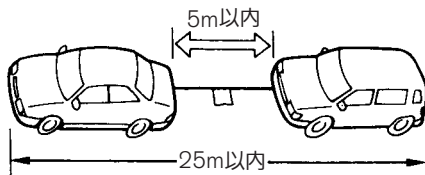
注意

- 指定以外のフックは絶対に使わないでください。フック部が破損するおそれがあります。

アドバイス

- ロープを掛けるときは、できるだけ同じ側で水平になるように掛けてください。

- ⑤ロープ中央に30cm×30cm以上の白い布を必ず取り付けます。



TSA2438Z

- ⑥エンジンをかけられるときはエンジンをかけ、セレクトレバーを**N**にします。

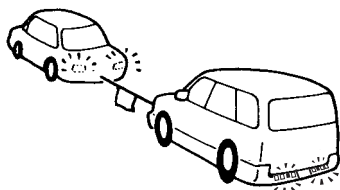


ZCE0174

⚠ 注意

- エンジンをかけられないときは、電源ポジションをAcc又はONにしてください。

- ⑦パーキングブレーキを解除します。
⑧けん引中はロープをたるませないように、前の車の制動灯に注意してください。



TSC1485Z

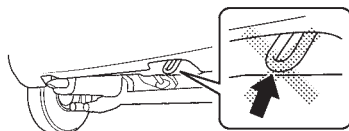
- 使い終わったら、けん引フックを取り付けた逆の手順で取り外します。

後ろ側のフックについて

後ろ側のフックは車両輸送時の固定専用です。

けん引には絶対に使わないでください。

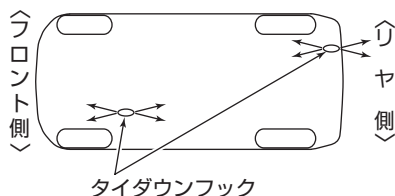
この車で他車をけん引することはできません。



ESE0695Z

🚗 アドバイス

- けん引用として使うと、車両を損傷するおそれがあります。
- トレーラーなどで輸送するときは、車両下側のタイダウンフックを使い固定してください。



ZCE0175

- 船舶輸送時は、フロントのけん引フックとリヤのタイダウンフックを使い固定してください。

オーバーヒートしたときは

次のようなときは、オーバーヒートです。

- 水温計がオーバーヒート範囲（○P.80）を示したとき。
- エンジンルームのすき間から蒸気が出ているとき。

警告

- エンジンルーム内は高温になっているため、エンジンフードを開けるときは十分に注意してください。やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
- エンジンが十分に冷えていないときは、ラジエーターやリザーバタンクのキャップを外さないでください。蒸気や熱湯が噴き出し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。

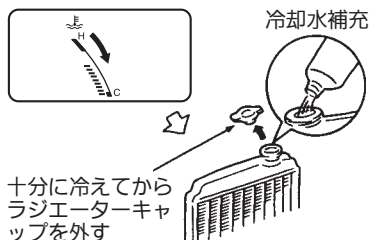
処置のしかた

- ①ただちに安全な場所に停車します。
- ②エンジンをかけたままエンジンフードを開け、風通しをよくしてエンジンを冷やします。
万一、冷却ファンが回っていないときは、ただちにエンジンを止め、自然冷却してください。

警告

- 蒸気が出ているときは、エンジンフードを開けないでください。やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
エンジンを止め蒸気が出なくなるまで待ち、エンジンフードを開けてください。

- ③水温計がオーバーヒートの範囲より下がったら、エンジンを止めしばらく待ちます。
エンジンが十分に冷えてから冷却水の量、ホースなどからの水漏れを点検してください。



ZCE0195

- ④冷却水が不足しているときは、ラジエーターとリザーバタンク（○P.211、212）に冷却水（○P.209）を補充してください。
・補充後は、しっかりキャップを閉めてください。

アドバイス

- 応急的に水だけを補充したときは、できるだけ早くエンジンクーラントを交換してください。

- ⑤走行中、再度水温計がオーバーヒートの範囲を示したときは、①～④の作業を繰り返し行ってください。
- ⑥早めに日産販売会社で点検を受けてください。

バッテリーがあがったときは

次のようなときは、バッテリーあがりです。

- スターターが回らないか、回っても回転が弱くエンジンがかからないとき。
- ライトがいつもより極端に暗いとき。
- ホーンの音が小さい、又は鳴らないとき。

■処置のしかた

12V（ボルト）バッテリー仕様の救援車を依頼し、ブースターケーブル（別売り）をつなぎ始動してください。

- ① 電源ポジションをOFF又はLOCKにします。
- ② ブースターケーブルを次の順番でつなぎます。

1本目

- ① 自車（あがった）バッテリーの⊕端子
- ② 救援車（正常な）バッテリーの⊕端子

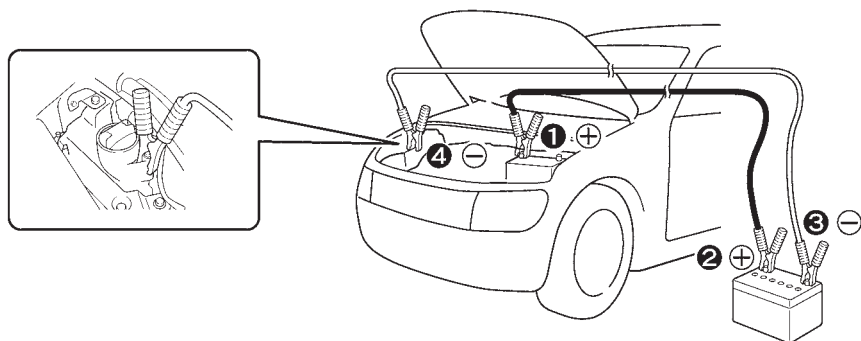
2本目

- ③ 救援車（正常な）バッテリーの⊖端子
- ④ 自車のエンジン本体（バッテリーから離れたステアなど）

⚠ 警告

- ブースターケーブルをつなぐときは、以下のことを必ず守ってください。火花が発生し、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
 - ・ ブースターケーブルを正しい順番と位置でつなぐ。
 - ・ ブースターケーブルを自車バッテリーの⊖端子に直接つながない。
 - ・ ブースターケーブルの⊕端子と⊖端子を接触させない。

- ③ 救援車のエンジンを始動し、エンジン回転数を少し高めにします。
- ④ 自車のエンジンをかけます。
 - ・ エンジンをかけるときは、ヘッドランプやエアコンなどはOFFにしてください。
 - ・ エンジンが始動しても、しばらくエアコンやオーディオを使わないでください。



アドバイス

- エンジンが始動できない場合には、一旦電源ポジションをOFFにして、10秒以上待ってから再始動してください。

- ⑤ ブースターケーブルをつないだときと逆の順番で外します。
- ⑥ 早めに日産販売会社で点検を受けてください。

警告

- バッテリーを充電するときは換気を十分にいき、火気は近づけないでください。バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。
- バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると、失明や炎症など重大な傷害につながるおそれがあります。万一、付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、飲み込んだときは多量の水を飲んで応急処置をしたあと、医師の診療を受けてください。

注意

- ブースターケーブルのワニグチクリップは、車体に触れたり、他のワニグチクリップと接触しないように注意してください。
- ブースターケーブルは、エンジン始動時の振動で外れたりしないように、確実につないでください。
- ブースターケーブルをつなぐときや外すときは、冷却ファンやベルトに巻き込まないように注意してください。

アドバイス

- 押しがけでの始動はできません。
- アイドリングストップ付車は、充放電能力と寿命性能を強化したアイドリングストップ付車専用バッテリーをご使用ください。専用バッテリー以外を使用すると、バッテリーの早期劣化やアイドリングストップが正常に作動しなくなる原因となります。
- バッテリーはお客さまの車に適合した日産純正部品をおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。
- バッテリーがあがるとステアリングロックの解除が行えず、電源ポジションが切り替わらなくなります。すみやかにバッテリーを充電してください。

知識

- アイドリングストップ付車は、バッテリー交換したあとや長期間バッテリー端子を外したあとは、アイドリングストップのシステムが作動するまでに時間がかかる場合があります。

ヒューズを点検・交換するときは

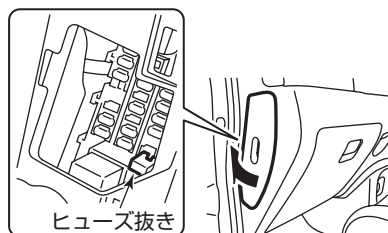
ランプがつかないときや電気系統の装置が作動しないときは、ヒューズ切れが考えられます。

故障の状況から、関係するヒューズの位置を確認してください。

■ヒューズボックスの位置

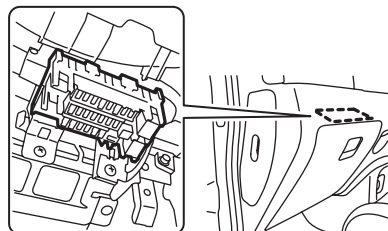
ヒューズボックスはグローブボックス側面、グローブボックス内側（2WD車）、エンジンルームにあります。

グローブボックス側面



ZCE0177

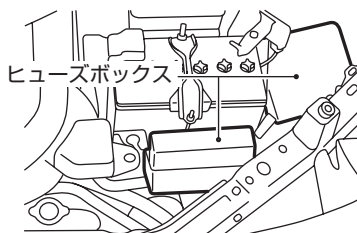
グローブボックス内側（2WD車）



ZCE0612

エンジンルーム

バッテリーの前側と右側にあります。



ZCE0178

知識

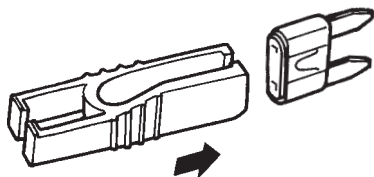
- エンジンルーム右側のヒューズを交換するときは、日産販売会社にご相談ください。

■ヒューズの位置

- ヒューズボックスのふたの裏側又はヒューズボックスの裏側に表示してあります。
- 車種により、付いていないヒューズがあります

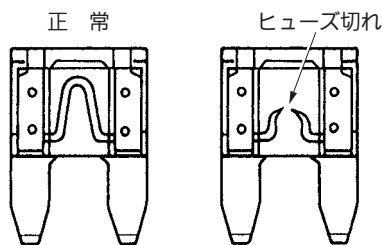
■ヒューズの交換のしかた

- ①電源ポジションをOFF又はLOCKにします。
- ②ヒューズボックスのふたを開けます。
- ③ヒューズ抜きをヒューズに差し込んで引き抜き、ヒューズが切れていないか確認します。



TSD0302Z

- ④ヒューズが切れているときは、同じ容量のヒューズと交換します。



TCA0169Z



警告

- 規定容量以外のヒューズや、ヒューズの代わりに針金、銀紙などは絶対に使わないでください。配線などが過熱、焼損し、火災につながるおそれがあります。

アドバイス

- 交換してもヒューズが切れるときは、日産販売会社で点検を受けてください。
- ヒューズ抜きは、ヒューズに対して垂直に差し込み、引き抜いてください。
- ヒューズを交換したときは、確実に差し込まれていることを確認してください。

電球（バルブ）を交換するときは

外装ランプが点灯しないときは、バルブ切れが考えられます。バルブを点検し、切れているときは交換してください。

- バルブの交換作業が不慣れな方や部品の破損などが心配な方は、日産販売会社にご相談ください。

■外装ランプの位置

方向指示器 兼 非常点滅表示灯



前照灯（ハロゲンヘッドランプ／キセノンヘッドランプ★）

車幅灯

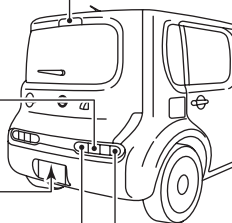
ハイマウントストップランプ

方向指示器 兼 非常点滅表示灯（後面）

番号灯

後退灯

制動灯／尾灯



ZCE0171

- 前照灯（キセノンヘッドランプ★）バルブが点灯しないときは、日産販売会社で点検を受けてください。



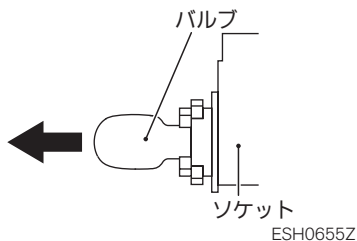
警告

- キセノンヘッドランプは点灯時高電圧になります。感電防止のため、ランプの脱着、バルブの交換は絶対に行わないでください。

■バルブの外しかた

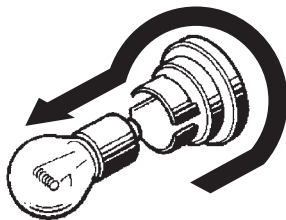
車幅灯、方向指示器 兼 非常点滅表示灯（側面）、番号灯、ハイマウントストップランプ、制動灯／尾灯、後退灯

- バルブを持ち、引き抜きます。



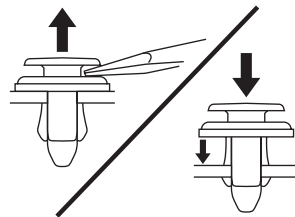
方向指示器 兼 非常点滅表示灯（前面、後面）

- バルブを押し込みながら反時計回りに回して引き抜きます。



■クリップの脱着のしかた

- 切り欠きにお手持ちの工具（マイナスドライバーなど）を差し込み、ロックを解除してから引き抜きます。
- 取り付けるときは、ロックが解除された状態で取り付け、指でロックを押し込みます。



ESG0745Z

■バルブ交換のしかた

- 交換をする前にバッテリーの⊖端子を外してください。
- 指定された容量のバルブ（○P.210）に交換してください。
- 交換したあとは、点灯することを確認してください。
点灯しない場合は、日産販売会社で点検を受けてください。



注意

- バルブの交換は、エンジンルームやバルブが冷えた状態で行ってください。やけどをするおそれがあります。
- バルブ交換をするときは、軍手などを着用して作業してください。
- ステアなどの端で指や腕をケガしないように十分注意してください。

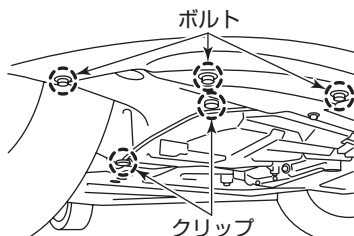


アドバイス

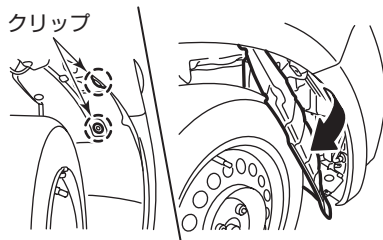
- 外した部品は確実に取り付けてください。水が入り故障の原因になるおそれがあります。
- バルブに油が付着したときは柔らかい布などでふき取ってください。また、素手でガラス部分に触れないでください。バルブの寿命が短くなったりバルブが破損するおそれがあります。
- ハロゲンヘッドランプのバルブは、バルブ内の圧力が高く、落としたりすると破損してガラスが飛び散ることがあります。取り扱いには十分注意してください。

車幅灯、フォグランプ★

- ①作業スペースを確保するために、作業する側と反対側にハンドルを切ります。
- ②クリップ4箇所とボルト3箇所を外して、フェンダープロテクターをめくります。



ZCE0176



ZCE0179

車幅灯

- ③ソケットを反時計回りに回して引き抜き、バルブを交換します。

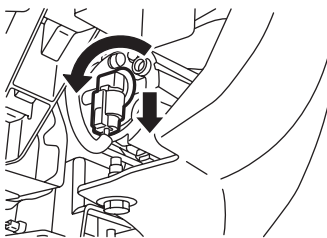


ZCE0206

- ④取り外したときと逆の手順で取り付けます。

フォグランプ*

- ③コネクターを外します。
④ソケットを反時計回りに回して引き抜き、バルブを交換します。

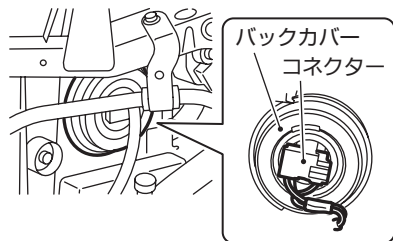


ZCE0207

- ⑤取り外したときと逆の手順で取り付けます。

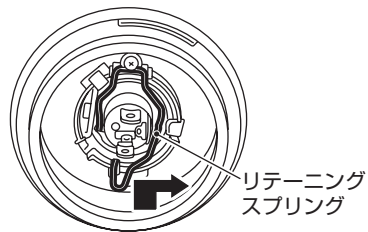
前照灯（ハロゲンヘッドランプ）

- ①コネクターとバックカバーを外します。



ZCE0182

- ②リテーニングスプリングのロックを外し、バルブを交換します。



ZCE0173

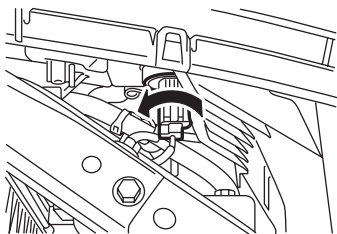
- ③取り外したときと逆の手順で取り付けます。

🚗 アドバイス

- リテーニングスプリングは必ず固定されたことを確認してください。
- バックカバーは確実にはめ込まれていることを確認してください。ヘッドランプ内に水が入るおそれがあります。

方向指示器 兼 非常点滅表示灯（前面）

- ①ソケットを反時計回りに回して引き抜き、バルブを交換します。

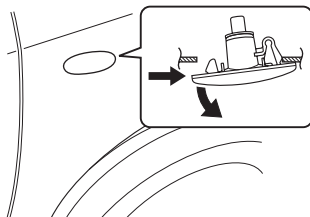


ZCE0183

- ②取り外したときと逆の手順で取り付けます。

方向指示器 兼 非常点滅表示灯（側面）

- ①レンズを車両前方又は車両後方のスライドする方向に押しながら車両外側に引き抜きます。

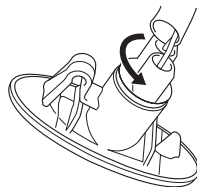


ESG0752Z

アドバイス

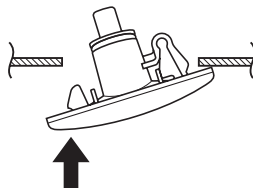
- 無理に力を加えないで下さい。破損するおそれがあります。

- ②ソケットを反時計回りに回して引き抜きます。
ソケットがフェンダー内に落ちないようにテープなどで車体に貼り付け、バルブを交換します。



ESG0753Z

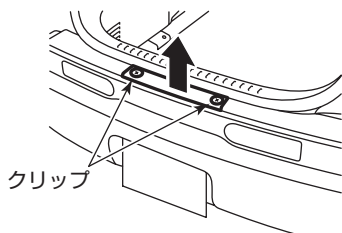
- ③レンズのクリップ側から差し込み、レンズを押し込んで取り付けます。



ESG0754Z

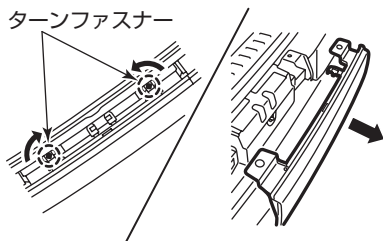
方向指示器 兼 非常点滅表示灯（後面）、制動灯／尾灯、後退灯

- ①バックドア開けます。
- ②クリップを外し、リヤバンパーカバーを外します。



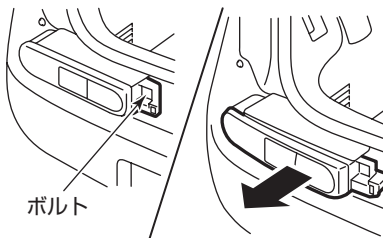
ZCE0184

- ③マイナスドライバーでターンファスナーを45度回転させてロックを外し、フィニッシャーを外します。



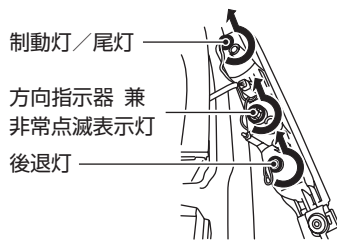
ZCE0185

- ④ボルトを外してリヤコンビランプを手前に引いて外します。



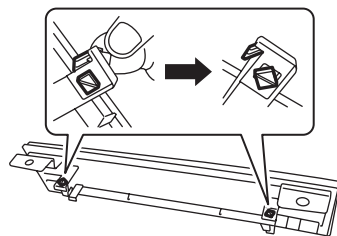
ZCE0186

- ⑤交換したいバルブのソケットを反時計回りに回して引き抜き、バルブを交換します。



ZCE0187

- ⑥ターンファスナーを車両から外してフィニッシャーに取り付け、45度回転させてロックさせます。

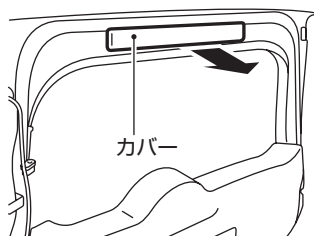


ZCE0188

- ⑦取り外したときと逆の手順で取り付けます。

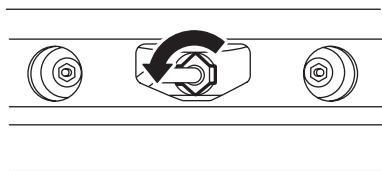
ハイマウントストップランプ

- ①お手持ちの工具を使って、カバーを外します。



ZCE0189

- ②ソケットを反時計回りに回して引き抜き、バルブを交換します。

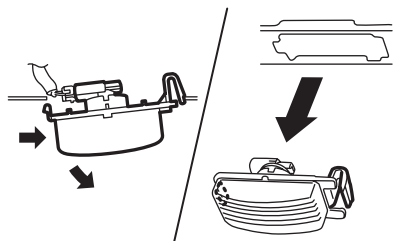


ZCE0190

- ③取り外したときと逆の手順で取り付けます。

番号灯

- ①番号灯のレンズを右側に押しながら下に引き抜きます。



ZCE0192

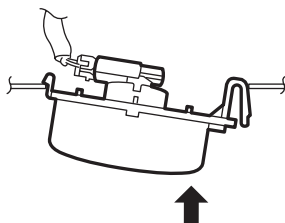
- ②ソケットを反時計回りに回して引き抜き、バルブを交換します。



ZCE0193

- ③取り外したときと逆の手順でソケットを取り付けます。

- ④レンズ左側を差し込んでから右側を下から押し込み、レンズを取り付けます。



ZCE0194

工具・ジャッキ・スペアタイヤについて

格納場所



注意

- 工具、ジャッキ、スペアタイヤを使ったあとは、元の場所に格納してください。車内に放置すると思わぬ事故につながるおそれがあります。



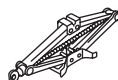
知識

- 停止表示板（停止表示灯）、輪止めは標準で搭載されておらず、必要に応じて準備してください。
- 工具の種類やジャッキ、発炎筒（P.189）などは、万一のときに困らないようにあらかじめ位置を確認しておいてください。

■工具、ジャッキ

後席足元（助手席側）に格納されています。

2WD車



ジャッキ



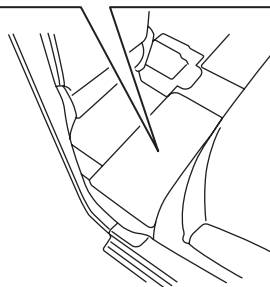
ジャッキハンドルバー



フロント
けん引フック



ジャッキハンドル兼
ホイールナットレンチ



ZCE0180

目次

警告

走行する前に

走行するとき

室内装
い
かた
た
の
備
の

車と
の
上
手
な
あ
い
か
た
な

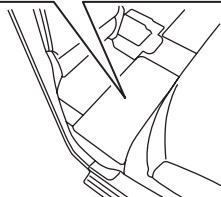
万
一
の
と
き

サ
ー
ビ
ス
デ
ー
タ

さ
く
い
ん

4WD車

	
エアコンプレッサー	修理剤ボトル
	
速度制限シール	フロント けん引フック
	
ジャッキハンドル 兼ホイールナット レンチ	ジャッキ ハンドルバー
	
ジャッキ	



ZCE0561

※車種により、エアコンプレッサーの形状が異なります。

知識

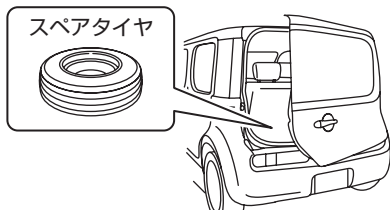
タイヤパンク応急修理キット

- 修理剤ボトルには有効期限があります。期限が切れる前に日産販売会社で買い求めください。
- 修理剤ボトルの有効期限は、ボトル上面のラベルに記載されています。(例：○ ○/○○○○→月/年)
- タイヤパンク応急修理キットは、指定の格納場所に保管してください。

📍タイヤ応急修理のしかた…P.200

■スペアタイヤ（2WD車）

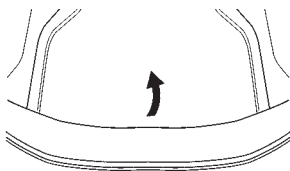
ラゲッジルームの下に格納されています。



ZCE0243

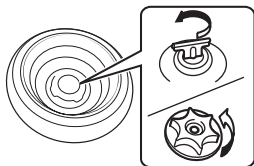
取り出しかた

- ①ラゲッジルームのボードを取り外します。



ESE1013Z

- ②タイヤを固定しているクランプをゆるめてタイヤを取り出します。



ESH0367Z

- スペアタイヤを格納するときは、取り出したときと逆の手順で行ってください。

🚗 アドバイス

- スペアタイヤはクランプでしっかりと固定してください。ゆるんでいると、走行の妨げになります。

スペアタイヤについて（2WD車）

スペアタイヤは応急用タイヤを搭載してあります。

タイヤがパンクしたときに、応急用として一時的に使うタイヤです。

※4WD車にはタイヤ応急修理キットが付くため、スペアタイヤは付きません。

🔍タイヤ応急修理のしかた（4WD車）…P.200をお読みください。

注意

- スペアタイヤの空気圧はときどき点検してください。また、年に一度はタイヤエアゲージを使用してタイヤ空気圧が適正であるか点検してください。長期間放置すると空気圧が減り、万一のとき使用できないことがあります。
スペアタイヤの空気圧は420kPa（4.2kg/cm²）です。
- タイヤはゴム製品のため、徐々に劣化します。安全を確保するため、5～7年を目安に必ず点検を受けてください。点検については日産販売会社にご相談ください。
- スペアタイヤを取り付けたときは、タイヤ接地部のたわみを確認してください。たわみが大きいときは空気圧が不足しています。すみやかに空気圧を調整してください。
空気圧が不足したまま走行すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 間違った使いかたをすると、思わぬ事故につながるおそれがありますので、次のこととお守りください。
 - ・ スペアタイヤ及びホイールはこの車専用です。他車のスペアタイヤを使ったり、他車に使わないでください。
 - ・ スペアタイヤに交換したときは、100km/h以下で走行してください。
 - ・ スペアタイヤには、タイヤチェーンは取り付けられません。
雪道、凍結路で前輪がパンクしたときは、スペアタイヤを前輪に使わず、後輪に付け、外した後輪を前輪に取り付けてください。
 - ・ スペアタイヤに交換したときは、できるだけ早く標準タイヤに戻してください。

アドバイス

- スペアタイヤに交換すると、車高が少し低くなります。地面の突起物などを乗り越えるときは、車体が接触しないように注意してください。

ジャッキアップのしかた

⚠ 警告

- ジャッキアップしたときは絶対に車両の下に入らないでください。ジャッキが外れると、重大な傷害につながるおそれがあり非常に危険です。
- ジャッキアップ中は、エンジンを始動しないでください。車が発進し、重大な傷害につながるおそれがあります。

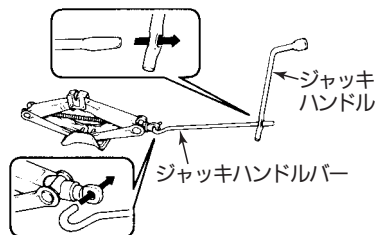
⚠ 注意

- ジャッキを使うときは、次のことを必ず守ってください。
 - ・ ジャッキは必ず車載されたものを使い、他車のジャッキは使わないでください。また、車載されたジャッキは他車に使わないでください。
 - ・ ジャッキはタイヤ交換又はタイヤチェーンの脱着以外には使わないでください。
 - ・ 平坦で硬いところに駐車して作業してください。
 - ・ 使用前にパーキングブレーキをかけ、セレクトレバーをPにしてください。
 - ・ 輪止めなどで車を固定してください。
 - ・ ジャッキの上下に台やブロックなどを入れないでください。
 - ・ 人や荷物は必ず車から降ろしてください。

■ ジャッキハンドルのセットのしかた

- ジャッキにジャッキハンドルバーとジャッキハンドルをセットします。

📍 格納場所…P.189



TSA0795Z

🚗 アドバイス

- ジャッキハンドルバーは、確実にジャッキハンドルの穴に差し込んでください。

■ジャッキアップのしかた

交通の妨げにならず、安全に作業ができる地面（平坦な硬い場所）に停車し、人や荷物を車から降ろします。

⚠ 注意

- やわらかい地面の上では行わないでください。ジャッキが倒れ、事故につながるおそれがあります。

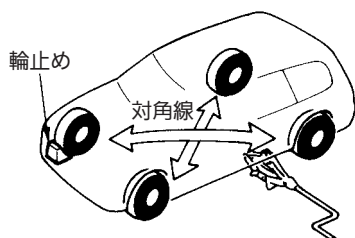
- ① パーキングブレーキをかけ、セレクトレバーをPにし、エンジンを止めます。



ZCE0196

- ② ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤに輪止めをします。

- 輪止めは、前輪をジャッキアップするときは後輪の後ろ側、後輪をジャッキアップするときは前輪の前側に置きます。



TSA2453Z

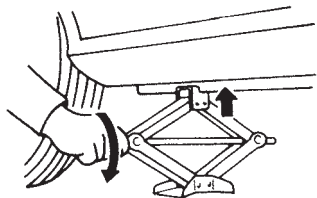
⚠ 注意

- やむを得ず傾斜地で作業する場合は、ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤの下り側に輪止めをし、車が動き出さないようにしてください。

📖 知識

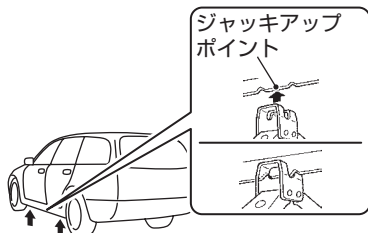
- 輪止めは標準で搭載されていませんので必要に応じて準備してください。なお、輪止めはタイヤを固定できる大きさの石、木片などで代用できます。

- ③ ジャッキを手で回し、ジャッキの溝がジャッキアップポイントの中央に入るまで上げます。



TCA0172Z

ジャッキアップポイント

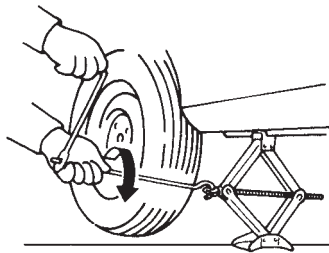


ZCE0191

🚗 アドバイス

- ジャッキアップポイント以外の所にはジャッキをかけないでください。車体に変形するおそれがあります。

- ④ジャッキハンドルを回して、タイヤと地面が少し離れるまで、ジャッキアップします。



TCA0174Z



注意

- ジャッキハンドルを回すときは、ジャッキハンドルバーを手でしっかり握って回してください。回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。

パンクしたときは

パンクしたときの応急処置として、スペアタイヤ付車はタイヤをスペアタイヤに交換します。タイヤパンク応急修理キット付車はパンクしたタイヤを応急修理してください。

●タイヤ応急修理のしかた（4WD車）…P.200をお読みください。

タイヤ交換のしかた（2WD車）

⚠ 注意

- タイヤ交換をするときは、軍手などを着用して作業してください。走行直後はホイールナットが熱いため、やけどやケガをするおそれがあります。

①交通の妨げにならず、安全に作業ができる地面（平坦な硬い場所）に停車します。

- ・人や荷物を降ろします。
- ・必要に応じて、非常点滅表示灯を点滅させ、停止表示板（又は停止表示灯）を置きます。
- ・工具、ジャッキやスペアタイヤを取り出します。

●ジャッキアップのしかた…P.193

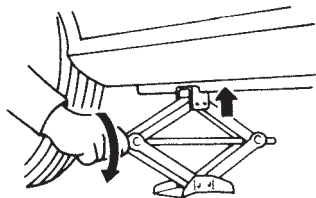
●スペアタイヤの取り出ししかた…P.191



ZCE0196

②ジャッキをセットします。

- ・ジャッキを手で回し、ジャッキの溝がジャッキアップポイント（●P.194）の中央に入るまで上げます。
- ・スペアタイヤをジャッキ近くの車体の下に置きます。

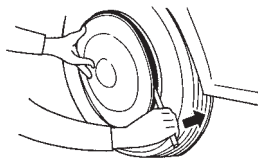


TCA0172Z

🚗 アドバイス

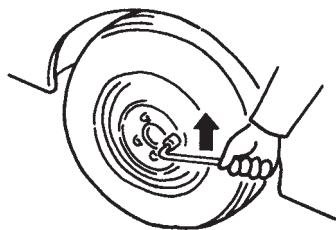
- スペアタイヤを置くときは、ラベル貼付側を上にしてください。

③フルホイールカバー付車は、工具に布などをあてて、ホイールカバーを傷つけないように外します。



TCC0070Z

- ④ホイールナットレンチで、全てのナットを反時計回りに約1回転ゆるめます。

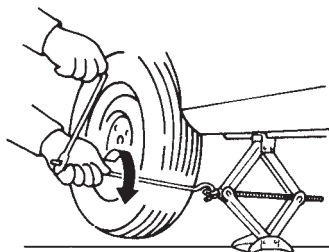


TCA0287Z

アドバイス

- タイヤを接地状態にして行います。

- ⑤ジャッキハンドルを回して、タイヤと地面が少し離れるまでジャッキアップします。

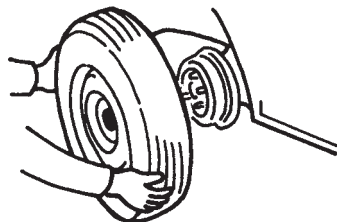


TCA0174Z

注意

- ジャッキハンドルを回すときは、ジャッキハンドルバーを手でしっかり握って回してください。回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。

- ⑥ナットを外し、パンクしたタイヤを外して車体の下に置きます。



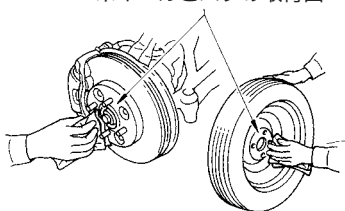
TCA0178Z

アドバイス

- タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にして置いてください。

- ⑦ハブの取付面とホイール裏側の取付面を布でよくふき、スペアタイヤを取り付けます。

ホイールとハブの取付面

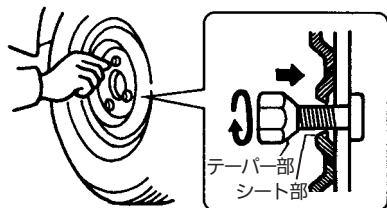


TCE0099Z

注意

- 取付面が汚れていると、走行中にナットがゆるみタイヤが外れるおそれがあります。
- 応急用タイヤは、ラベル貼付側が外側になるように取り付けてください。逆に付けると他の部品と当たり、思わぬ故障につながるおそれがあります。

- ⑧ナットのテーパ部が、ホイール穴のシート部に軽く当たるくらいまで、時計回りに回して締め付けます。

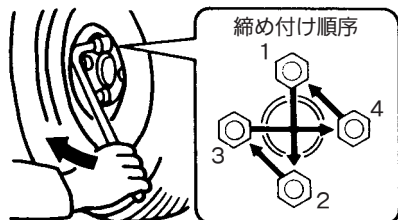


TSA2228Z

⚠ 警告

- ナットを取り付けるときは、ナットやボルトにオイルやグリスなどを塗らないでください。走行中にナットがゆるみ、タイヤが外れるおそれがあります。

- ⑨ナットを、図の順序で2～3回に分けて締め付けます。

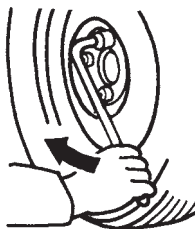


TSA2229Z

- ⑩ジャッキを下げます。

さらにナットを⑨の締め付け順序で十分に締め付けます。

- ホイールナット締め付けトルク
108N・m (11kg・m)



TCA0181Z

⚠ 注意

- ジャッキを下げるときは、ジャッキハンドルとジャッキハンドルバーを両手でしっかり握って回してください。回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。

🚗 アドバイス

- ホイールナットレンチを足で踏んで回したり、パイプなどを使って必要以上に締め付けしないでください。ボルトが折れるおそれがあります。

- ⑪パンクしたタイヤをラゲッジルームに、使用した工具やジャッキなどを室内の元の場所に格納します。



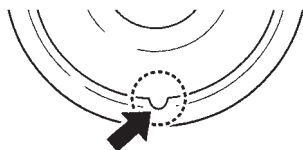
注意

- タイヤを取り付けてしばらく走行したあと、ナットのゆるみや車体の振動などの異常がないか確認してください。



アドバイス

- 応急用タイヤには、ホイールカバーは取り付けられません。
- 応急用タイヤは、すぐに標準タイヤに戻してください。
- 標準タイヤにホイールカバーを取り付けるときは、エアバルブの位置を合わせてください。



TCA0480Z

タイヤ応急修理のしかた (4WD車)

タイヤトレッド部（接地面）に刺さった釘やネジなどによる軽度のパンクは、タイヤパンク応急修理キットで応急修理できます。

しかし本キットは応急修理を目的としているため、修理後はすみやかに日産販売会社又は専門の修理業者で点検、恒久修理を行ってください。

●タイヤパンク応急修理キットの格納場所…P.190

次の場合、応急修理はできませんので、日産販売会社又はJAFなどに連絡してください。

- ・修理剤の有効期限が切れている場合
- ・約6mm以上の切り傷や刺し傷がある場合
- ・タイヤサイド部が損傷を受けた場合
- ・ほとんど空気の抜けた状態で走行した場合
- ・タイヤがリムの外側、又は内側へ完全に外れている場合
- ・リムが破損している場合
- ・タイヤが2本以上パンクしている場合

⚠ 注意

修理キットについて

- 応急修理キットは、必ず日産純正品を使用してください。
- 応急修理キットは、搭載車両専用です。他の車には使用しないでください。
- 応急修理キットは自動車用タイヤの空気充填や空気圧チェック以外で使わないでください。
- 応急修理キットはDC12V専用です。他の電源での使用はできません。
- 水やほこりを避けて使用してください。
- 分解、改造などは絶対にしないでください。
- コンプレッサーに衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- お子さまが誤って手を触れないように注意してください。

修理剤について

- 飲むと健康に害があります。万一誤って飲んだ場合は、できるだけたくさん水を飲み、ただちに医師の診療を受けてください。
- 万一目や皮膚に付着した場合には、水でよく洗い流してください。それでも異常を感じたときは、医師の診療を受けてください。

■応急修理のしかた

※車種により、エアコンプレッサーの形状が異なります。

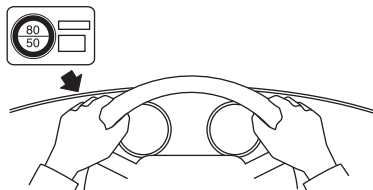
🚗 アドバイス

- タイヤに釘やネジが刺さっている場合は、抜かずにそのまま修理してください。

タイヤパンク応急修理キットは、後席足元（助手席側）のふたを開けて取り出します。

📍格納場所…P.190

- ①コンプレッサーの速度制限シールをはがし、運転者のよく見えるところに貼ります。

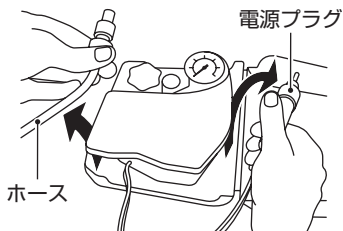


ZCE0342

⚠️ 注意

- ハンドルのセンターパッド部には速度制限シールを貼らないでください。SRSエアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。
- また、警告灯やスピードメーターが見えなくなる位置にも貼らないでください。

- ②コンプレッサーからホースと電源プラグを取り出します。



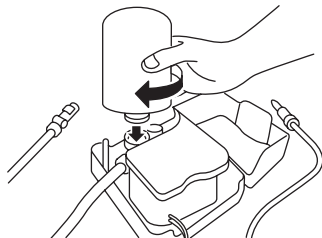
ZCE0343

- ③コンプレッサーから、ボトルホルダーのキャップを外します。



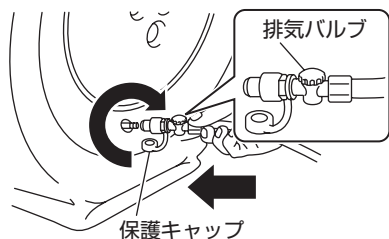
ZCE0344

- ④修理剤ボトルのキャップを外し、内ぶたをつけたままボトルホルダーに取り付けます。（ボトルホルダーにねじ込むと内ぶたが破れます。）



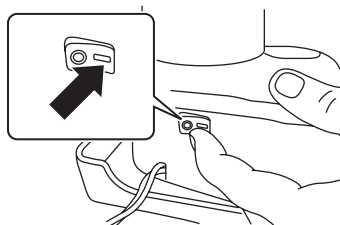
ZCE0345

- ⑤パンクしたタイヤのバルブからキャップを外します。
- ⑥ホース先端の保護キャップを外し、ホース（排気バルブが閉まっていることを確認してください）をパンクしたタイヤのバルブに確実にねじ込みます。



ZCE0346

- ⑦コンプレッサーのスイッチがOFF（「○」の位置）にあることを確認し、電源プラグを車内の電源ソケットに差し込みます。
- ⑧電源ポジションをAcclにしてコンプレッサーのスイッチをON（「ー」の位置）にし、タイヤを指定空気圧又は180kPa以上まで昇圧させます。
- この際、実際の空気圧が測れるようにコンプレッサーを一時停止して圧力計で測定してください。
- 空気圧が高すぎる場合は、排気バルブを反時計回りに回して、空気を抜いてください。



ZCE0347

⚠ 注意

- ホースとタイヤの接続が不十分な場合、空気が漏れたり、修理剤が飛び散るおそれがあります。
- 破裂の危険があるので応急修理キット作動中は補修中のタイヤから離れてください。タイヤに亀裂や変形が発生している場合、ただちにコンプレッサーのスイッチを切り、修理を中止してください。
- バルブを介して修理剤を注入するため、圧力が600kPaに達することがありますが、異常ではありません。通常は、30秒ほどで下がります。

※タイヤの空気圧は運転席ドア開口部に表示、及び巻末のサービスデータに記載してあります。

🚗 アドバイス

- コンプレッサーは長時間使用すると故障につながるおそれがありますので、10分以上連続して作動させないでください。タイヤ空気圧を昇圧できない場合は修理できません。

10分以内に180kPaまで昇圧できない場合

10分以内に180kPaまで昇圧できない場合は、タイヤがひどい損傷を受けているおそれがあります。

この場合は、本修理キットで応急修理することができません。日産販売会社又はJAFなどに連絡してください。

●JAFの営業所一覧…メンテナンスノート「サービス網について」をお読みください。

- ⑨指定空気圧又は180kPa以上まで昇圧できたら、コンプレッサーのスイッチを切り、電源プラグを電源ソケットから抜きます。ホースをバルブからすばやく取り外し、ホースに保護キャップを取り付け、バルブにキャップを取り付けます。

🚗 アドバイス

- ボトル内に残った液剤がこぼれないように、ボトルはボトルホルダーにつけたままにしておいてください。

- ⑩修理剤をタイヤ内に広げるため、10分間又は3km程度走行してください。80km/h以下の速度で注意深く運転してください。

⚠ 注意

- 空気を入れたあとは、ホースの口金が発熱することがあります。やけどしないように注意してください。
- 走行するときは、低速で慎重に運転してください。特にカーブや旋回時には注意してしてください。

- ⑪走行後、再度コンプレッサーのスイッチが OFF (「○」の位置)にあることを確認し、コンプレッサーのホースをタイヤのバルブに取り付け、コンプレッサーに付属している空気圧計でタイヤ空気圧をチェックしてください。
- 指定空気圧より低下していたら、再度指定空気圧まで昇圧してください。

⚠ 注意

- 空気圧が130kPa以下に低下したり、⑦～⑩の作業を繰り返しても空気圧が低下したりする場合は、本修理キットによる応急修理はできません。
- 運転を中止して日産販売会社又はJAFなどのロードサービスに連絡してください。
- JAFの営業所一覧…メンテナンスノート「サービス網について」をお読みください。

- ⑫ 空気圧が低下していなければ、応急修理は完了です。すみやかに日産販売会社又は専門の修理業者まで慎重に運転してください。

アドバイス

- 応急修理後の恒久修理の際、パンク穴を発見できないために恒久修理できないことがあります。そのまま走行を続ける場合は、こまめに空気圧をチェックしてください。頻繁に空気圧の低下がみられるときは、日産販売会社又は修理業者で点検を受けてください。

知識

- 修理剤を使用したタイヤは、新しいタイヤに交換されることをおすすめします。
修理・再使用される場合は、専門の修理業者と相談してください。
- ホイールは付着した修理剤をふき取れば再使用できますが、バルブは新しいものと取り替えてください。
- 修理剤とホースは再使用できません。
使用後は新しい修理剤とホースをお求めください。
詳しくは日産販売会社にご相談ください。

事故がおきたときは

あわてずに次の処置をしてください。

1 続発事故の防止

他の交通の妨げにならないような安全な場所に車を移動させ、エンジンを止めます。

2 負傷者の救護

負傷者がいる場合は、医師・救急車が到着するまでの間、可能な応急手当を行います。

3 警察への届け出

事故が発生した場所、状況、負傷者や負傷の程度などを連絡します。

4 相手方の確認とメモ

相手方の氏名、住所、電話番号などを確認してメモします。
同時に事故状況もメモしておいてください。

5 販売会社と保険会社への連絡

ご購入された販売会社と加入の保険会社へ連絡をします。

目次

△
警告

走行する前に

走行するとき

使室内
装備の
いた

つ車
きあ
い上
か手
たな

万
一
の
と
き

サ
ー
ビ
ス
デ
ー
タ

さ
く
い
ん

